

公表日

令和7年3月15日

事業所名

こぼんはうすさくら 浦生西町教室

保護者等数(児童数) 21名

回収数 21件(割合100%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				1 広くてきれいだと感じる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	1	6	人手が足りない中で一所懸命支援がなされていると思う。 子ども1人1人を見てくれていると感じる。足りないと感じたことはない。	加配を含め基準人員を満たした人員配置をしております。一層の支援の質を高められるように、職員の質の向上にも努めていきたいと考えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		3		「わからない」という意見もあるので、面談等の来所時に事業所の説明をして理解を深めてもらう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1				定期的な清掃により、清潔に保てるように心がけております。引き続き対応していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		2		今年度作成をした支援プログラムを周知いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				定期的な面談でニーズに合った支援計画を作成していただいている。 我が子の今の状況に合った計画を立ててください普段からよく見てくれていると感じる。 いつもたくさんの方の要望を聞いて細かな計画を立てていただいています。	引き続き、保護者様ともコミュニケーションをとり、支援計画に反映させていきたい。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		2		支援計画の説明時に、分かりやすく説明を行いたい。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			4	活動内容が毎回色々書いてあって違うことをやっていると思う。 遠方の外出はもちろん近くの公園などにもよく出かけていて楽しそう。	引き続き、児童への支援計画の達成のため、家庭では出来ない体験ができる活動を行ってきたい。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3		9	公園や児童館など他のデイよりしてくれている。	
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21				とても丁寧に毎回説明してくれる。 毎回詳しく話を聞かせてくれる。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	2	6	3人目なので1人目の時に会ったらよかったと思いました。	保護者様のニーズを聞いて、機会の提供を検討したい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21				面談の際にとっても親身になって困りごとやどうしていいのかわかるので助かっている。 連絡帳で何をして過ごしているのか、何が苦手だったのか教えてもらえてありがたい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1			面談では相談事に対するアドバイスなどいただけるとありがたい。	定期的な面談以外でも、適宜相談に乗れる機会を作りたいと考えます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	3	8	あまり必要性を感じない。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		3	親の急用に対応してくれたり相談に乗っていただき感謝している。予定表に入れていない日もイベントがあると教えていただいて参加させてもらえてありがたい。	引き続き、相談のしやすい関係構築を図っていきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2	こぼんだよりでどんな活動をしているのか写真付きで見られるので、子どもがどのように過ごしているか見られるのはありがたい。	情報発信の方法について、より一層の充実を図るように方法を検討したい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		7	訓練しているか不明。どんな訓練がなされているかわからない。	新たに作成をしたマニュアル等について周知、説明を行いたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		9	どんな訓練がなされているかわからない。	訓練実施のフィードバックを行いたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		5		次回面談時での説明を行いたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			先生のことがみんな大好きです こぼんの先生方が大好きです。	安心して通所できることは、一番重要と考えています。引き続き、より一層の安心感を持っていただける教室づくりを行っていききたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3			子どものコンディションが悪いと「みんなうるさい」という時もまれにありますが、基本的には楽しく通っている。毎回いっぱい活動して楽しんでいる。行くと、こんなことをやったりか、楽しかったとかたくさん話してくれます。	児童が楽しみに通所できることが、児童の頑張りも引き出せる条件と考えます。楽しい活動をもっとたくさん、行っていききたいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			学習など一緒に考えていただきありがたい。子をよく見てくれ、家族にも丁寧に説明してくれ安心です。子供も楽しく活動できていて、ほかの子や先生とのかかわりも楽しんでいるようで良かった。	引き続き、児童の成長と一緒に感じさせるように、支援を充実させていきたいと考えます。

公表日

令和7年3月15日

事業所名

こぼんはうすくら 蒲生茜町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		ロッカー等で隔てを作って工夫している ランドセルを入れる棚など位置や置き場所を工夫している	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		職員数が体調不良等で変わってしまうため 体調不良者が出て余裕があるほうが良い
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		バリアフリー化が十分ではない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	毎日清掃することを心掛けている	前日使ったものがそのままだったり、 使ったものが定位置に戻っていないことが 度々ある
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		反省会などを実施している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の意見を取り入れて改善している	改善に手が付けられていないこともあるので、 しっかり対応をしたい
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日の反省会や、カンファレンス、個人 目標の見直し等で改善している	意見をまとめる機会はあるが改善できているか は不明で、できていないと感じる
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		外部評価の検討をしたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2		研修（オンライン）の提供はあるが、日々の 業務のため時間が取れていない
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			作成済み。今年度公表を行う
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者のニーズをできるだけ確認し、計画 に取り入れている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2		パート職員からの意見が十分に聞きとれて いない
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		十分に計画に沿うことは難しいが、計画を 共有して支援の質を高めたい
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		集団行動や個別活動等多様に組み合わせて いる	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			行っているが、全員からの意見を反映しき れていない
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		目標・日課・レク等を更新している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		忙しくなると打ち合わせができない時もある
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		その日ではないが翌日以降に行っている 詳細に申し送りしている	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		特に目立つ子のみ記載
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		適切に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自分で考える力を支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校 時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	4		学校の送迎時に先生と情報共有を適切に している	学校とは出来ていないが、保護者より情報 共有を行っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達 支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		児童発達支援センターが放デイとの関係が ない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動 する機会があるか。	3	1	運動会（地区）等に参加し活動している	施設外の他児との交流は少ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		地域の協議会の存在の有無が不明
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳やその日の送迎時に、様子を伝え ている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。		4		保護者のニーズを確認して、実施を傾倒し たい
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4		利用契約時に詳細に説明している
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の 意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や 必要な助言と支援を行っているか。	4		主に児発管が相談時に支援している	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3		今年度は行っていない
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	3	1		
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に 対して発信しているか。	4		こぼんだより等の情報を発信している	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	4		児童の障害の程度に合わせて適切な支援 をしている	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営 を図っているか。		4		地域の方をイベントに招待したことはない

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		現在食物アレルギーの児童がいないため医師の指示があるかは不明
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		研修が十分ではないと感じる
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット報告書を作成し検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			